



越前町
ECHI ZEN

2008. 8 . 1
vol.13

議会だより



海開き神事・豊漁祭

おもな内容

- ☆ 6月定例会報告 2
- ☆ 一般質問 3
- ☆ 議会活動 7

発行・越前町議会 発行責任者・議長 井上信雄 編集・議会広報特別委員会
〒916-0192 福井県丹生郡越前町西田中13-5-1
TEL (0778) 34-1234 (代)

六月定例会報告

招集 6月18日

会期 3日間

(18日～20日)

議案審議結果

次の議案が審議され原案通り可決されました。

- ① 報告案件：6件
- ② 議 案：9件

① 報告案件（抜粋）

専決処分の承認を求めていることについて

○平成20年度越前町一般会計補正予算(第1号)

補正額

224万5千円

越前学校給食センター

蒸気ボイラー取替工事費

○（越前町手数料徴収条例の一部改正について）

戸籍法の一部改正に伴い、引用している規定が変更されるため改正を行

うもの

なうもの

○（越前町税条例の一部改正について）

公益法人制度改革・寄附金税制・固定資産税・証券税制等の改正に伴い一部を改正するもの

○宮崎地区特定農山村総合支援基金条例の廃止について

② 議 案（抜粋）

○宮崎地区特定農山村総合支援基金条例の廃止について

一般会計

○平成20年度越前町一般会計補正予算(第2号)

補正額

2億9,489万3千円

(予算総額)

130億9,483万8千円

歳出の主なもの

◎総務費

○コミュニティ助成事業補助金

（越前熊野太鼓）

（玉川区防災会）

○集会施設改修工事費

（白浜・高佐地区）

◎民生費

○第40回福井県民間保育園大会補助金

○衛生費

○丹生衛生管理組合解散に伴う、し尿処理施設等解体敷地整地工事等

○ごみステーション設置事業補助金

（新築2ヶ所・改築2ヶ所）

○農林水産業費

○米ノ浦漁港改良工事費

○玉川漁港改良工事費

○県単林道工事費（4路線）

○商工費

○周遊バス運行委託料

○越前陶芸村整備工事費

◎土木費

○町道改良工事費

（乙坂気比庄線・宝泉寺グラウンド線）

○町道消雪設備工事費

（窪田線）

○町道用地購入費

（宝泉寺グラウンド線）

◎教育費

○生活支援員賃金

○えちぜんスポーツクラブ補助金

○平成20年度越前町老人保健事業特別会計補正予算

補正額

753万6千円

（予算総額）

2億3,766万9千円

○平成19年度老人保健医療給付費等負担金に対する返還金

○平成20年度越前町簡易水道事業特別会計補正予算

補正額

753万6千円

（予算総額）

2億3,766万9千円

○平成19年度老人保健医療給付費等負担金に対する返還金

○平成20年度越前町簡易水道事業特別会計補正予算

補正額

757万5千円

（予算総額）

9億8,492万1千円

○簡易水道施設改良工事費（宮崎地区）

○平成20年度越前町簡易水道事業特別会計補正予算

補正額

757万5千円

（予算総額）

9億8,492万1千円

○簡易水道施設改良工事費（宮崎地区）

○平成20年度越前町公共下水道事業特別会計補正予算

補正額

2億44万4千円

（予算総額）

12億2,133万1千円

○公共下水道施設補修工事費（宮崎地区）

○町債繰上・借換償還元金

○平成20年度越前町集落排水事業特別会計補正予算

補正額

9,382万6千円

（予算総額）

6億160万4千円

○町債繰上・借換償還元金

○平成20年度越前町簡易水道統合整備事業萩野配水池工事請負契約について

萩野配水池（細野地係）の工事請負契約の締結を承認

○「食料・農業・農村政策に関する意見書」の発議を可決、当議会は、国会および政府に対し、意見書を提出しました。

○平成20年度越前町簡易水道統合整備事業萩野配水池工事請負契約について

萩野配水池（細野地係）の工事請負契約の締結を承認

○「食料・農業・農村政策に関する意見書」の発議を可決、当議会は、国会および政府に対し、意見書を提出しました。

○平成20年度越前町簡易水道統合整備事業萩野配水池工事請負契約について

萩野配水池（細野地係）の工事請負契約の締結を承認

○「食料・農業・農村政策に関する意見書」の発議を可決、当議会は、国会および政府に対し、意見書を提出しました。

○平成20年度越前町簡易水道統合整備事業萩野配水池工事請負契約について

萩野配水池（細野地係）の工事請負契約の締結を承認

○「食料・農業・農村政策に関する意見書」の発議を可決、当議会は、国会および政府に対し、意見書を提出しました。

○平成20年度越前町簡易水道統合整備事業萩野配水池工事請負契約について

萩野配水池（細野地係）の工事請負契約の締結を承認

○「食料・農業・農村政策に関する意見書」の発議を可決、当議会は、国会および政府に対し、意見書を提出しました。

○平成20年度越前町簡易水道統合整備事業萩野配水池工事請負契約について

萩野配水池（細野地係）の工事請負契約の締結を承認



6月定例会

一般質問

町の施策を問う



田中 太平

鋼材などの原材料価格の高騰に対する対応について

問 鋼材・原油・食糧などの価格が高騰しているが、町の行政施策への影響にどのように対応しているのか伺いたい。

答

町長

現在、町では朝日中学校の新築・移転や鯖江・丹生消防組合丹生分署の建設という大型工事が着工及び計画されています。この工事の発注に際しては県の四半期ごとの統一価格をもとに設計積算を行なっています。H型鋼S40Dの価格は、今年2月には1トン当たり81,600円が、6月の価格は121,000円と40%

強の高騰となっています

が、幸い町の予算編成においては、原材料価格の高騰も視野に入れて設計の積算見積をいたしましたので、現在のところ町の大型工事は予算の範囲内で対応出来るのではないかと考えています。国では契約後に建設資材・燃料等、全体工事の1%を上回る高騰をした場合には、この工事支払に上乘せする単品スライド制を6月から適用すると発表していますので、もし、町も単品スライド制の導入になれば、補正予算での対応をお願いすることもあるかと思っています。

越前陶芸村文化交流会館の運営について

問

越前陶芸村文化交流会館は、旧宮崎村のシンボルとして重きをなし、多くの観光客・見学者を集め、そして陶芸の関心を高めるのに一翼を担ってきた。しかし入

館者数は平成15年の2,942人、ピークに、平成18年には12,195人に減少している。県陶芸館が今年8月から全面リニューアル工事に入り、その後指定管理者制度の導入も検討されているが、越前陶芸村文化交流会館も県と歩調を合わせるべきではないか。

答

町長

県から陶芸館・陶芸公園・文化交流会館の3点をセットで一括して公募による指定管理者制度で管理運営したらどうかと申し入れがありました。町としても今、行政改革は非常に大事な時期であり、県の意向を踏まえて歩調を合わせ行きたいと思っています。

陶芸村全体の管理に要する事業費は、年間7,150万円ですが、管理者制度を導入した場合、4,900万円程度となり、大きな節減効果が期待できます。今後住民の意向も聞きながら是非指定管理者制度に移行して行きたいとの考えも持っています。

後期高齢者医療制度について

問

4月より後期高齢者にふさわしい医療の名のもとで発足したこの制度も、その内容が国民に周知されるに従い、廃止や見直しが浮上している。

このため、次の点について町長の所見を伺いたい。

- ① 制度の問題点は。
- ② 町民からの相談・要請・苦情の実態は。
- ③ 現に医療・介護サービスを受けている人にとって不利益は。

答

町長

①・高齢者には前期も後期もないのに75歳以上を後期高齢者というネーミング

・導入の時期

・後期高齢者診療料、退院調整加算、終末期相談支援料等、高齢者の方には冷たい内容だと思っています。また、制度が複雑であるとところへ国の説明責任が十分に果たされておらず、理解が浸透されていない事が問題だと思っ

ています。しかし方向としては間違っていないと思っています。

②相談では、

・負担額の計算の内容に関して90件

・保険証の未着・再発行に関して80件ありました。

要請では、

・自己負担割合が今回の制度では夫婦の収入を対象として決められますが、各個人の収入に応じて決めるべきとの要請がありました。

苦情では、

・保険証が薄つぺらい・文字が小さくて読みにくいなどがありました。

③現在、医療や介護を受けている人に不利益は無いということですが、それがほとんどありません。しかし、後期高齢者診療料とか、あるいは終末期相談支援料などそうした新設は運用によっては患者さんに不利益を招くのではないかと懸念されます。



財政健全化の為に 財源確保を図れ！



北野 正勝

む地方自治体の貴重な財源として、5月1日より福井県知事が提唱した「ふるさと納税」制度がスタートし、それぞれ県市町間の独自の対応が競われますが、当町の取り組みについて伺いたい。

問

財政の健全化とは、歳出に見合った健全

全歳入の手当を言う。返済の見込みのない借金をし「どこかに吸収合併されて終り。」とは行かない。その付回しは、ここに住む住民とその子、孫の代まで負担を強いることになる。「7年後、13年後にこの町を残せるか」と質し、先の3月議会で町長から「合併特例期間の過ぎる26年度をめどに財政健全化を図りたい」との答弁がありました。一方、財政を健全化しても町が荒廃しては、これまた問題とも指摘してきました。慢性的な財政難に取り組

答

町長

「ふるさと納税」は、不確定要素が強く財源として期待を抱く事に疑問を感じますが、今後の取り組みに対しての詳細については、所管の理事から答えます。

答

総務理事

本町のふるさと寄附要綱に基づき募集をし、使途については、納税者の意向を確認して決めます。募集のための、パンフレットは補正予算で対応します。一方、目標金額等につきましては、現時点では定めていません。今後検討していきます。

町の空施設を活す

問

5月29日に議員研修で訪れた沖縄県の離島・久高島留学センターには、6年前まで、海難事故で亡くなった当町出身の故富田美江子さん（当時25歳）が勤務していました。彼女は全国から不登校の子供が集まるこの施設で働いていたが、平成15年10月、9人の子供たちと遊泳中に突然、大波に襲われ、一旦岸にたどり着いたが、流されている子供達の元に引き返し、おぼれかけた子供を励まし、全員、岸に泳ぎ着かせた。しかし、自らは力つき翌日遺体で見えられた。センターが発見して3年目の出来事でした。

坂本清治留学センター代表は、心に傷を負った子供たちが、自然に触れ「生」を実感し、たくましく成長しているのは紛れもない事実だが、安全に大自然に接する事や24時間丸抱えで子供を預かる事は、容易なことではないと施設の存続に苦悩したが、存続を求める多

くの激励の手紙や島の人、何よりも愛娘を失った両親と家族からは「応援します」との申し出があった。

答

町長

現在、町内には空き施設が8箇所あり、その再利用法は考慮中ですが、織田地区の「朋楽の里」や「悠久ロマンの杜」、越前海岸などは適地ですが教育という専門的な分野で、その取り組みは難しいと思います。

現在、行財政改革を検討中であり、現段階では新規事業の参入は考えておりません。

問

人口2000人の久高島の小中学校は、一旦廃校が決定していたが、留学センター受け入れと関係者の働きで、現

答

町長

山村留学については、現在のところ消極的な気持ちで、特に町の活性化のために取り組むという思いはありません。

● ふるさと納税 ●

個人住民税の一部を生まれ育ったふるさととの県や市町村に寄付すると、住民税などが軽減される制度。2008年4月30日の地方税法改正により、従来の寄付金控除税制を拡充する形で導入された。

● 野焼きの雉子夜の鶴 ●

巣を営んでいる野を焼かれると、キジは危険を顧みずひな鳥を救う為に巣に戻るといふ。

ツルもひなのいる親鳥は、霜の降る寒い夜、自分の翼で子供を覆って暖めるといふ。キジやツルを代表的な例として子への思いの深さをあらわした実話。『岩波ことわざ辞典』

● おおたか静流 ●

NHK教育テレビ『にほんごであそぼう』では音楽製作と歌唱で活躍。

在9億円の予算で建設中である。

また人のつながりは思わぬ結果を生む。7月19日に開催される涼風コンサートは、故富田美江子さんの縁で、おおたか静流さんが無料出演する。最小限の予算で町を活性化させる為には、町の取り組み姿勢が問われるのではない。

織田病院での人工透析について



吉村 春男

問

現在、町内で人口

透析の治療を行っている方は、42名と聞いている。これらの方々は、週に2回ないし3回、福井市や越前市など町外の医療機関に通院している。患者本人はもとより、その家族の負担が大きく、出来れば織田病院での治療を願うものであるが、その可能性について、町長の所見を伺いたい。

答

町長

人口透析の治療は、1回に3時間から6時間程度の時間を要し、本人も含めて家族の負担は大変大きいものである事は

認識しています。

平成17年に織田病院の施設整備に関するマスタープランを策定しましたが、その中では診療科の増設、あるいは病床数の増床、人工透析室の新設等を計画しております。

今年3月に行われた第5次福井県保健医療計画では、丹南2次医療圏の病床数が過剰との判定があり、逆にベッド数が削減されました。

再三再四、県の方に織田病院の増床を要望しておりましたが、認められませんでした。

非常に残念ですが、現在の織田病院の中に、人工透析室を設けることが出来なくなりました。

現在病院の医療環境が非常に厳しい状況にあり、県内の公立病院では相当の赤字が累積していると

師や看護師の確保も非常に難しい状況にあります。このため、織田病院としては、今後、自己完結型の病院を目指すのではなく、公立丹南病院や他の

市町の病院との連携により、ネットワークを図る中で医療機能の充実に努めていきたいと思っています。

問

人口透析患者は、本当に困っている。

町長は、住み良い町、住んでみたくなる町を掲げているが、再度答弁を求めたい。

答

町長

気持ちとしては、透析患者の方々の利便性や負担軽減を図りたいと思っています。しかし、現在の織田病院の面積では、技術的にも物理的にも透析室を設けることは非常に難しいと考えますが、今後とも知事をはじめ県当局に対して織田病院の増床を積極的に要望していきたいと思っています。

越前岬水仙ランドの開園について

問

越前岬水仙ランドは、越前海岸の観光

スポットであり、越前岬と灯台そして自然景観がマッチしているところから、観光産業と地場産業を有機的に結びつけようとして整備された施設である。現在、この水仙ランドが開園されている状況にあるが、施設建設の原点に戻り再考すべきと思うが、町長の所見を伺いたい。

答

町長

現在、水仙ランドは閉園してはおりません。開園しています。ただ、6月から10月までの5ヶ月間は、人件費の節減を図るため、清掃協力金も徴収していませんし、文学資料館は閉館しています。ナルシスの館は開館しています。

水仙ランドは、非常に自然景観もよく、一面に広がる水仙畑には癒し効

果もあります。観光施設としては、一級のものではないかと思っています。昨年11月に水仙ランド改善会議を立ち上げ、改善策を検討しています。

個人的には、通年型の水仙ランドを目指し、越前水仙以外にも多種類の水仙を植栽し、年間を通して子供さんを含めた家族連れや若い人たちを集客出来る、公園にしたいと思っています。

今後数年かけて水仙ランドを再整備し、観光の目玉にしたいと考えており、施設の機能強化を図っていききたいと思っています。

問

水仙ランドは閉園ではないというが、

現実的には閉園である。今後、水仙ランドの整備目的の再認識や施設の有効活用はもちろん、国道で結ぶ町内観光施設のルート化も踏まえ、水仙ランドの拠点化策を考えるべきと思うが、町長の考えを示していただきたい。

答

町長

水仙ランドでは、文学資料館のみが閉館しているだけで、他の施設は開館しており、水仙ランド全体としては閉園はしていません。

議員ご指摘のように、良いまちをつくるには、汗をかき知恵を出さなければならぬと思っています。町全体の観光についても、一度には出来ませんが、それぞれの地域において目玉となるような観光資源の整備について、関係する方々と時間をかけて議論し、是非とも観光の振興に結びつけたいと思っています。



住宅用火災警報器の 設置率向上の取り組みは？



木村 繁

問

住宅用火災警報器は、平成16年の消防法改正により、平成18年6月1日から新築住宅に設置が義務づけられ、既存住宅にも平成23年5月末までに設置が義務化される。

県内のある町では、昨年4月に一世帯当たり、購入額の3分の1以内、上限2千円とする町単独の助成事業を導入した。

消防団員の方が、全世帯を訪問して指導を行った結果、設置率が全国トップレベルの約70%にも達し、火災の早期発見が大いに期待出来る。

また、県内のある消防

本部では、モデル事業所を指定して、社員に警報器の設置を呼びかけ、設置率25%以上を目指している。今後は、学校、公民館でもモデル地区を指定して、地域を挙げて普及に取り組んでいくと聞く。

現在、本町の普及率は何か。合わせて今後の率向上の取り組みについて町長の所見を伺いたい。

答

町長

住宅用火災警報器

は、鯖江丹生消防組合の調査によると、75%の人が必要と感じています。現在、町内の火災警報器の普及率は、一般家庭で20%で、県平均の25%を下回っています。65歳以上

のひとり暮らしの住宅については、防火協会を通じて、503戸のうち139戸の住宅に対して町から現物給付をしてい

ますので普及率は28%です。

価格は、1個が3〜4千円で、2階建ての一戸住宅では寝室、階段、廊下など3〜4個の取り付けが必要となり、1万〜1万5千円の負担となります。特に高額でないことや、自分の安全は自分で守るのが基本的原則であると考えていますので、補助金の支援は考えていません。

今後、モデル事業所を指定し、従業員の方を対象に普及啓発を行いたいと思います。消防団の皆さんや役場職員の方にも是非協力を依頼したいと考えています。

また、町営住宅についても、平成21年度から2カ年間で警報器を設置していきたいと考えています。

子供の安全のための 監視システムは？

問

平成18年度末の全国の幼稚園、小学校、中学校・高校、特別支援

校など5万3千校の調査によると、侵入者等監視システムを設置する学校は、全体の65・9%で、平成15年度に比べ20・5%上昇している。

また、通報システムを取り入れている学校は、全体の87・4%で、3年間で20%増加している。

本町の小学校・中学校・保育所、児童館ではどのように安全を確保しているのか。また、現在建設中である朝日中学校の防犯体制は、全国的にモデルとなる最新システムの導入を希望するが、町長の所見を伺いたい。

答

町長

大阪府の池田小学校で起きた無差別殺傷事件以来、全国的に学校や保育園等への部外者の立ち入りが厳しくなりました。

町内にある13の小学校と中学校の全てにインターホンや緊急通報装置を設置しており、宮崎中学校と朝日小学校、保育所にも2カ所、防犯カ

メラが設置されています。警報センサーの設置は、保育園で3カ所、児童館でも3カ所、警報通報システムは、6カ所の児童館のうち5カ所に設置されています。

通報装置は、すべての小学校・中学校と14ある保育所の内、13の保育所に設置されています。

インターホンは、保育所では8カ所、催涙スプレーは、小中学校に89個、サスマタは15個、防具盾は6個、警棒は6カ所に設置されています。同様に保育所にも11カ所でサスマタや催涙スプレーが設置されています。

そのほか、小学校の新入児童全員に防犯ブザーを配付し、施設管理は、すべての小学校・中学校を警備保障会社に委託しており、年に一、二回程度防犯訓練や火災訓練等を行っています。

また、小学校・中学校の登下校時に、PTA、ボランティア、老人会などの方をお願いをして、2千名程度で見守り活動

を強化しています。

また、子ども110番の家が301カ所あり、緊急時の避難場所に指定しています。

問

朝日中学校は、県内のモデルになるような防犯体制にしてはどうか。

また、教職員にPHS（管内の携帯電話）を配付すれば、万が一の時に有効ではないかと思うが、町長の所見を伺いたい。

答

町長

朝日中学校は、インターホンや警報装置、防犯カメラを設置し、学校周辺をフェンスで囲む予定です。PHSは、是非実現の方



平成20年度

議員研修

沖縄県

平成20年5月27日～30日、議員23名・町長の総勢26名で、沖縄県石垣市役所と沖縄県南城市「たまぐすく花野果村」、久高島留学センターを訪問して、越前町における課題について視察研修を実施しました。



石垣市役所

石垣市役所を訪れ、「観光振興と環境保全対策に対する取り組み」について研修を実施しました。

石垣市は、観光客や定住人口が現在も増え続けており、参加した議員は、越前町での実施効果を探りながら、細部に渡り熱心に質問を行い、本町の観光産業に反映させて行きたいと決意を新たにしました。

農業生産法人

「たまぐすく花野果村」

平成14年9月28日に、農産物直売所として沖縄県南城市にオープンした施設で、1,100坪ある敷地内には、直売所のほかトロピカルカフェ、農産物加工場があり、農業体験の受け入れなども行っています。

生産農家に、有機無農薬や減農薬での生産を呼びかけ、「新鮮・安全・お手頃な価格の農産物」の生産・販売に努め、地域の活性化に寄与していました。



石垣島



久高島留学センター

久高島留学センターは、沖縄本島知念岬の東海上に浮かぶ、周囲8キロメートルの細長い島で山村留学を実施している施設でした。

現在、小・中学校生17名（小学6年生・中学生）が、年間を通して生活を共にし、地元の久高小・中学校に通学しています。

現代社会が失いかけている大切なものを、子どもたちの学びの場として8年前に建設されたものでした。

福井県町議会議員

研修会

町民に信頼され 存在感のある議会を学ぶ



県内8町から議員140人が参加

7月4日福井県自治会館で、北海道栗山町議会の議長橋場利勝氏を講師に招き、「住民に信頼される地方議会の再構築を」と題して講演が行われました。

栗山町は、議会改革に積極的に取り組み、平成18年5月に全国で初めて「議会基本条例」を制定しました。

橋場議長は、「地方分権の時代は議会の重要性が高まるので、住民目線に立った活動が必要である」と強調した。真に「町民に開かれた議会づくり」の研修会でした。

越前町議会を視察

羽後町議会・西多摩郡町村議長会

7月3日と22日、羽後町議会（秋田県）と西多摩郡議長会（東京都）の方が、越前町に行政視察に訪れました。

本町の「議会運営」や「農業振興施策」の取り組みについて、熱心に研修が行われ、その後、井上議長と議会活動について活発に意見が交換されました。



視察に訪れた羽後町議員（秋田県）

また来年も来ておっけー！



第28回越前陶芸まつり（宮崎地区）

5月24日～26日、第28回越前陶芸まつりが越前陶芸村で開催されました。今年は連日小雨の降るあいにくの天候でしたが、陶器を買い求める常連さんや茶道の愛好家など約10万人が県内外から訪れました。

本年度は陶芸館などの整備が予定されており、今後多くの観光客の入り込みが期待されます。

9月議会の傍聴をしてみませんか

日程については、議会事務局にお問い合わせください。TEL34-8712

編集後記

「暑い、暑い」があいさつ代わりの毎日。
涼を求めて「越前夏まつり」へ。

「ドーン、パチパチ」夜空には大きな光の華。
ものすごい音が海の方から山に向かい、その跳ね返りが自分の体に伝わってくる。

「すごい」と感じたら、周りから歓声が沸き起こる。

しばし暑さを忘れました。

この季節、町内の各地区では夏祭りが盛んに行われています。

「あさひまつり」「O・TA・I・K O響」などはこれから。

皆さんも家族揃って、越前の夏を満喫してみたいかがでしょうか。

（上杉）

議会広報特別委員会

委員長 吉村 春男
副委員長 青柳 良彦

堀 弘忠
北瀬 良春
安井 賢二
上杉 力
北野 正勝
武藤 吉明